

早稲田学区社会福祉協議会では 「わせだ防災プラン」による活動を進めています

平成30年7月の西日本豪雨では、早稲田学区内でも土砂災害が発生しました。幸いにも人の被害はありませんでしたが、自主防災活動としての様々な課題が明らかになりました。
 わせだ防災プランは、この西日本豪雨での教訓を基に自主防災活動を計画的に進め、様々な課題を解決することを目的として作成しました。
 今後はこのプランにより、早稲田学区にお住まいの皆さんと一緒に学区内での防災・減災を目指します。



平成30年7月西日本豪雨で発生した牛田東4丁目の土石流災害

早稲田学区における自主防災活動

早稲田学区では、早稲田学区自主防災連絡協議会（通称：わせだ自主防）を中心として、わせだ防災プランの内容に沿って各種の自主防災活動を行っています。機会があれば、皆さんもぜひご参加ください。

- 防災訓練  避難移動訓練
- ワークショップ  B.Q.S.A | カフェ
- 避難所の開設・運営  避難所開設(公民館)
- イベント・情報発信  ふゆまつり防災コーナー

お試し避難体験 体験者募集中!

避難所での避難生活がどのようなものになるか分からないので、避難をためらう、、、そんな心配をなくすために、早稲田集会所でのお試し避難体験をしています。少人数でも体験できますのでご連絡ください。

〈申し込み〉082-223-7790(早稲田集会所) 受付時間:平日の午前中



「わせだ防災プラン」全文は、わせだ自主防のホームページで確認できます。防災に関する取り組みや豆知識なども掲載しています。

わせだ自主防ホームページアドレス <https://waseda-jisyubo.jimdosite.com>



わせだ自主防
ホームページ
QRコード

もしもの災害時にあわてないように、 日ごろから災害への備えをしましょう

- わせだ防災プラン〈家庭版〉
発行：早稲田学区社会福祉協議会
編集：早稲田学区自主防災連絡協議会
令和4年3月発行

※わせだ防災プランは、広島市の「まるごと元気コミュニティ活性化補助金」を活用して作成しています。

プラス “日常に「+防災」を”

わせだ防災プラン

〈家庭版〉



早稲田学区では、地域の防災力を高めるため「わせだ防災プラン」を作成し、自主防災活動を実施しています。その活動の中から、みなさんの家庭での備えに関わる内容をまとめました。

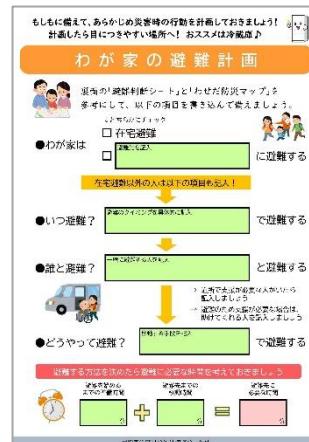
5分でできる!

まずは折り込みの「わが家の避難計画」を 書き込んでみましょう。

・ 5分でできる家庭の防災プランです。

・ わが家の避難計画で、在宅避難を選択した方は2ページ、避難が必要になった方は2・3ページの内容を確認しましょう。

あなたは、在宅派？ 避難派？



わが家の避難計画

在宅避難の備え

在宅避難のためには、自宅の安全性を確保し、大きな災害が発生した時に一定期間、自立できる備えが必要です。しっかり確認しておきましょう。

まずは家具の固定を！

地震への備え

地震の発生に備えるためには、まずは家具などの下敷きにならないよう固定します。また、自宅の耐震性能をチェックして、危険度に応じた備えをしておきましょう。

●家具の転倒防止

固定しておいた方が良いもの
・タンス ・冷蔵庫 ・食器棚
・大型テレビ ・ピアノ など



●自宅の耐震診断をチェック

わせだ式耐震チェックポイント

- 昭和56年以前に家を建てた
- 増築を2回以上している
- 一面が窓になっている壁がある
- 壁にひびが入っている
- 過去の災害で大きな被害を受けたことがある
- 建物の基礎が鉄筋コンクリートではない
- 建物の平面の形がL型、T型など複雑である
- 4m×4m以上の大きな吹き抜けがある

1週間は生活できる備蓄を！

自宅の備蓄品

在宅避難では、すぐには支援物資の供給が十分に行き届かない場合も想定されることから、1週間程度は自立して避難生活が送れるような備蓄をしておく必要があります。ローリングストックを活用して効率的な備蓄をしておきましょう。また、ライフラインが止まった場合に備えて、簡易トイレなどの備えも大切です。

備蓄品として必要な物の例

- 水（1人約20リットル）
- 食料・カセットコンロ
- 電池やバッテリー
- 簡易トイレ（1人30回分）
- 薬や救急箱など医療品
- 衛生用品

ローリングストックを活用しましょう

普段から少し多めに食材・加工品を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで常に一定量の食料や飲料水を備蓄する方法です。備蓄品の保管場所を確保するうえでも、ローリングストックにより効率的に備蓄が可能になります。



初期消火の備えが大切！

火災への備え

火災に対しては初期消火ができるようにしっかりと備えましょう。もし火事になっても犠牲とならないよう火災報知器などの点検も必要です。

●自宅の防災対策

自宅の防火設備チェックリスト

- 消火器を設置している
- 消火器の使用期限が過ぎていない
- 火災報知器を設置している
- 火災報知器のテストをしている
- 漏電遮断器をテストしている

●初期消火をするために

- ①消火器を設置する
- ②消火器の使用方法を確認する
- ③集合住宅は消火設備を確認する



避難行動の備え

避難行動が必要な人は、避難先や避難のタイミングを決めておく必要があります。また、タイミングを逃さないための情報収集方法の確認も必要になります。

自宅の危険度をまずは確認！

土砂災害への備え



居住区域の6割以上が土砂災害の警戒区域に含まれる早稲田学区では、避難が必要かどうかを必ず確認する必要があります。わせだ防災マップなどで自宅の危険度を確認しておきましょう。

●わせだ防災マップの確認

わせだ防災マップでは、土砂災害の危険な場所や避難所などの情報を確認できます。最新のマップはわせだ自主防のホームページで確認しましょう。



早稲田自主防ホームページQRコード

最初に開設される避難所は早稲田集会所！

早稲田学区の避難所

災害が起こりそうな時に開設される避難所は、早稲田集会所と早稲田公民館です。

早稲田集会所

(住所)牛田東2丁目12-23
(電話)082-223-7790



令和3年9月に早稲田集会所はバリアフリー対応になりました！

早稲田公民館

(住所)牛田東4丁目19-1
(電話)082-502-1239



※避難する時のポイント

- ・避難に必要な非常持ち出し品は持ってきてきましょう
- ・災害時は駐車場を拡大するので車での避難も可能です
- ・ペットとの避難もできるだけ対応します

分散避難を考えましょう

避難所での避難だけでなく、自分にあった避難先を決めておく「分散避難」を考えましょう



早稲田で必要な情報を入手しよう！

災害時の情報入手

●広島市防災情報メール

広島市提供の防災情報メールでは、早稲田学区に関する避難情報、防災情報を入手できます。



●広島市防災ポータル

広島市防災ポータルでは、気象情報や現在の危険度などをリアルタイムで確認できます。



●早稲田社協公式LINE

早稲田社協の公式LINEでは災害時の防災情報の提供も行います。避難所情報や災害の危険度、支援情報など早稲田学区直接関係する情報の入手ができます。

